



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.90 2009.7.15

発行

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談はお気軽に **090-2156-3510**

都議選でのご支援、ありがとうございました 日本共産党は8議席を獲得

そね候補は及ばず

12日投票の東京都議会議員選挙で、日本共産党は8議席を獲得しましたが、改選比で5議席減、北区でも貴重な現職の議席を失う結果となりました。ご支持、ご支援をいただいたみなさんに心から感謝申し上げます。に、ご期待にこたえることができなかったことを深くおわびいたします。



支援者に結果を報告するそね候補（左）とのの山区議 14日、のの山けん事務所

そねはじめ候補は、福祉・医療が一番の都政、税金のムダづかいの一扫、切実な住民要求の実現を訴えてたかい、前回から2千票以上のばす2万6962票を獲得しましたが惜しくも議席には及びませんでした。

そね候補は、選挙結果が判明した翌日早朝から赤羽駅頭に立ち、「痛恨の結果となったことは申し訳ありません。4年後の選挙にむけ、捲土重来を期して今日からがんばります」と訴えました。

14日には、志茂・赤羽地域の選挙結果報告会でお礼のあいさつ。支援者から「本当に残念だ」「今後も住民のためにがんばってほしい」と、激励が寄せられました。

次は、解散・総選挙。新たな躍進をめざして全力をつくす決意です。

都議選結果（北区） 投票率59.29%（前回50.25%）

※前回の投票日は2005年7月3日

結果	候補者名	党派名	得票数			得票率(%)		
			今回	前回	差	今回	前回	差
次点	そねはじめ	日本共産党	26,962	24,745	2,217	16.79	18.67	▲1.88
当	原田 大	民主党	36,517	18,313	18,204	22.74	13.82	8.92
当	高木 けい	自民党	33,516	24,133	9,383	20.87	18.21	2.66
当	和田 宗春	民主党	32,133	16,741	15,392	20.01	12.63	7.38
当	大松あきら	公明党	31,444	31,770	▲326	19.58	23.97	▲4.39
				(戸枝) 16,848			12.71	
	合計		160,572	132,550		100.00	100.00	

東京都議選の結果について

日本共産党東京都常任委員会

一、日本共産党を支持してくださった都民のみなさん。わが党の前進のため、昼夜をわかつた協力をくださった支持者、読者、後援会員のみなさん。ご奮闘くださった党員の方々に、ほんとうにありがとうございます。また、物心両面にわたって、おしめない支援をお寄せくださった全国の方々に、心から感謝いたします。

今回の都議選で日本共産党は、江東区で失った議席を回復したものの、6つの現職区で議席を失い、みなさんのご期待にこたえられず、8議席にとどまったことに心からのおわびを申し上げます。私たちは、かかげた公約

の実現をめざし全力をつくすとともに、みなさんのご意見をくみつくし、けん土重来を期して奮闘する決意です。

一、今回の都議選は、自公政治への失望と怒り、変革への願いが噴出するもとで、日本共産党は、

自民、公明、民主の各党が「オール与党」として石原都政を支え、悪政を推進してきたことを事実にもとづいて告発し、真

の対決が「日本共産党対自公民『オール与党』」にあることを積極的におしだしました。また、高齢者の医療費無料化、保育園待機児の解消、都立病院の存続、30人学級、中小企業と若者支援などの実現に道をきりひらく

日本共産党の値うちを大いに訴えてきたかいました。この訴えは、都民の願いにかなったものであり、正確で攻勢的なものでした。それだけに、これらの訴えが届いたところでは、広範な都民の共感と支持をひろげることができました。

一、今回の日本共産党の得票は、70万7602票であり、これは前回(05年)を2万7402票うわまわり(前回比104%)、07年の参院選の比例票(55万4601票)、05年の衆院選の比例票(58万6017票)も大きくこえました。投票率が10・5ポイントも大きく上がり、127万人の新しい人々が投票し、

「自民か民主か」の「政権選択」キャンペーンが大規模にすすめられたなかで、わが党の陣地を基本的に維持し、若干伸ばしたことは貴重です。

この得票は、総選挙での「比例2議席以上、90万票以上の得票」の実現へ重要な足がかりとなるものです。今回の得票を2007年参院選比例票とくらべると、日本共産党が127・6%、民主党が100・1%、自民党が94・7%、公明党が103・5%であり、日本共産党が得票でも得票率でも他のどの党よりも前進しています。私たちは、目前に迫った解散・総選挙において、今回の都議選の経験と教訓を最大限にいかし、勝利のために全力をあげるものです。

一、今回の選挙戦で、日本共産党の訴えを全有

権者規模で届けきることができませんでしたが、その最大の問題は、もてる力を総發揮することに成功していないことにあります。それだけに、当面する総選挙では、この弱点の克服のために、今度こそ「支部が主役」で全支部・全党員が決起することに執念をもち、とりくみを抜本的に強める決意です。地域支部はもちろん、職場や各分野の支部の全党員が力を發揮することによってこそ、

勝利をきりひろくことができます。この点で、活動参加をひろげること、成功した選挙区・支部の教訓をほりさげつつ、

「全党員がたちあがれば勝てない選挙はない」を合言葉に頑張ります。

総選挙の投票日は8月30日が濃厚です。首都東京での新たな前進めざして奮闘する決意を重ねて表明します。